

「SDGstrong ChakkaMaki | 着火巻 珈琲缶 (スチール缶) 火起こし器」の製作 (サバイバル避難生活 向け)

このテキストは「SDGstrong ChakkaMaki | 着火巻 珈琲缶 (スチール缶) 火起こし器」の製作方法について説明しています。具体的には、避難生活などの緊急時に使用できる専用ストーブの作り方を示しています。

1.準備するもの：珈琲缶 (スチール缶)、千枚通し、ゴムハンマー、缶切り

2.作業手順

- ・ゴムハンマーと千枚通しで、スチール缶の底にたくさんの穴を開けます。
- ・缶の側面にも、底から約1cmのところに8個の穴を開けます。
- ・缶切りで缶の上部を切り取って、火起こし器のできあがりです。

3. SDGstrong ChakkaMaki | 着火巻の短冊一本を、らせん状に丸めて缶の中に入れ、その後に少量の焚き付けと木炭を入れたら、 tong でつかみティッシュなどを燃やした炎で底を炙れば、炭火を起こすことができます。

1.千枚通しとハンマーを使って、缶の底面と側面に穴を開けます。

2.コーヒー缶の上蓋をくり抜きます。

3.これで SDGstrong ChakkaMaki | 着火巻 珈琲缶 (スチール缶) 火起こし器が完成します。

最後に、SDGstrong ChakkaMaki | 着火巻の短冊一本を、らせん状に丸めて缶の中に入れ、その後に少量の焚き付けと木炭を入れたら、 tong でつかみティッシュなどを燃やした炎で底を炙れば、炭火を起こすことができます。

この方法を使えば、手軽に火を起こすことができ、避難生活などの緊急時に役立ちます。

SDGstrong ChakkaMaki | 着火巻 珈琲缶 (スチール缶) 火起こし器の製作 (サバイバル避難生活 向け)

1.準備するもの：珈琲缶 (スチール缶)、千枚通し、ゴムハンマー、缶切り

2.作業手順 ・ゴムハンマーと千枚通しで、スチール缶の底にたくさんの穴を開けます。 ・缶の側面にも、底から約1cmのところに8個の穴を開けます。 ・缶切りで缶の上部を切り取って、火起こし器のできあがりです。

3. SDGstrong ChakkaMaki | 着火巻の短冊一本を切り取り、から一本の短冊を切り離して丸め、スチール缶の中に入れます。少量の焚き付けと木炭を入れ、底からティッシュなどを燃やした炎で炙れば、炭火を起こすことができます。

「SDGstrong ChakkaMaki | 着火巻 珈琲缶（スチール缶）火起こし器の製作」は、サバイバル避難生活向けのワークショップモデルとして、以下のように SDGs の 17 項目に適合します。

目標 1：あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ - このプロジェクトは、低コストの材料を使用して、誰でも利用できる炊事設備を提供します。

目標 2：飢餓をゼロに - この火起こし器は、食料調理を可能にし、飢餓を軽減する手段を提供します 1。

目標 3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する - このプロジェクトは、安全な調理設備を提供し、健康リスクを軽減します 1。

目標 4：すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する - ワorkshop形式で提供されるこのプロジェクトは、参加者に新たなスキルと知識を提供します。

目標 5：ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る - このプロジェクトは性別に関係なく参加可能であり、全ての人々が新たなスキルを習得する機会を提供します。

目標 6：すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する - この火起こし器は水の消毒と食品調理に使用できます。

目標 7：手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する - このプロジェクトは再利用可能な材料から作られた効率的な火起こし器を提供します。

目標 8：すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する - このプロジェクトは地元コミュニティに新たな技術と知識をもたらし、雇用創出や経済成長に寄与します。

目標 9：レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る - このプロジェクトは再利用可能な材料から作られた革新的な製品です。

目標 10：国内および国家間の不平等を是正する - このプロジェクトは誰でも利用可能であり、社会経済的地位に関係なく全ての人々が利益を得ることができます。

目標 11：都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする - このプロジェクトは緊急時の避難生活を支援し、都市のレジリエンスを強化します。

目標 12：持続可能な消費と生産のパターンを確保する - このプロジェクトは再利用可能な材料を使用し、持続可能な消費と生産を推進します。

目標 13：気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る - このプロジェクトは木炭を効率的に使用し、CO2 排出量を減らします。

目標 14：海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する - このプロジェクトは再利用可能な材料を使用し、海洋汚染を減らします。

目標 15：森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る - このプロジェクトは木炭の効率的な使用を促進し、森林資源の持続可能な管理に寄与します。

目標 16：公正、平和かつ包摂的な社会を推進する - このプロジェクトは全ての人々が参加できる公平なワークショップモデルとして機能します。

目標 17：持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する - このプロジェクトは地元コミュニティと協力して実施され、グローバル・パートナーシップの活性化に寄与します。

以上が「SDGstrong ChakkaMaki | 着火巻 珈琲缶(スチール缶)火起こし器の製作」が SDGs の 17 項目にどのように適合するかの具体的な案内となります。